

ワタシを生かす
アキタを活かす

Kit

秋田県職員

採用総合案内

2026



心のかよった
医療・福祉政策

命とくらしを守り抜く



成果追求型

あなたの発想を活かして
豊かな地域を創っていこう。
秋田の地域資源を活かして
選ばれる秋田にしていこう。
秋田に寄り添うあなたに
きっと秋田は
生きるパワーを与えてくれる！



日本の食は秋田が支える

持続可能性を豊かに



マーケティング導入

Aターンの促進

選ばれる秋田



いま、秋田は大きく変わろうとしています。

人口減少が進む中であっても
秋田の強みを生かす新たな挑戦により
未来を拓くチャンスが訪れています。

そんな新しい時代の秋田を切り拓く
“あなた”の力が必要です。

「寛容・挑戦・安心」
この基本理念のもと、様々な課題に立ち向かい
秋田の未来をデザインしていく仕事は、
県職員だからこそ味わえる唯一無二の醍醐味です。

あなたの挑戦と活躍を待っています。
ともに、新しい秋田を切り拓いていきましょう。

秋田県知事 鈴木健太

あなたの挑戦と活躍を
秋田は待っています。



寛容 挑戦 安心

DX無罣

多様な働き方

動画でもチェック!



1 フレックス タイム制



最大4週間の期間内で、総勤務時間は変えずに1日の勤務時間を任意に設定できる制度。個々の事情に応じた柔軟な働き方が可能です(コアタイムなど一定の条件あり)。

【活用例】

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	勤務時間
月			9:00~			休憩	コアタイム		~18:15								8:15
火		7:30~				休憩	コアタイム		~18:00								9:30
水	(フレックス週休日)																0:00
木			8:30~			休憩	コアタイム							~22:00			11:30
金				10:00~		休憩	コアタイム					休憩	~21:30				9:30
	計																38:45

Senior's voice



フレックスタイムを活用
制度を活用して
大好きな秋田を満喫!

フレックスタイム制を活用し、水曜と土日を休む「週休3日」で働いています。その他の日は勤務時間が長くなりますが、休みを挟むことでリフレッシュができ、高いモチベーションを維持できています。平日の休みには県内各地の温泉を巡り、秋田を満喫しています。

2 テレワーク



希望する職員は誰でも1日単位や時間単位でテレワークができます(最大週4日まで)。通勤時間の削減により、ワークライフバランスの向上が図れます。

活用前	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
	起床・朝食	子ども登園	通勤				8:30~17:15					通勤	子ども降園	家事夕食	リビングタイム	風呂	家事就寝
	↓																

活用後	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	起床・朝食	家事	子ども登園				8:30~17:15					子ども降園	家事夕食	リビングタイム	風呂	就寝

Senior's voice



テレワークを活用
仕事と子育てを
テレワークで両立

現在の部署は企業など関係機関とメールでやりとりすることも多いため、テレワークを活用しやすく、オンラインの会議や研修に自宅から参加する機会も増えてきました。同僚も早く制度活用を勧めてくれるなど、小さい子どもがいるので助かっています。

3 時差通勤



出勤時刻を指定のシフト(午前7時~午前11時の間で15分刻み)から選択できる制度。1日の勤務時間は変わらず、出勤時刻の変更に伴い退勤時刻も前後します。

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
通常勤務の場合						勤務時間 (8:30~17:15)								
時差通勤 例①						勤務時間 (7:00~15:45)								
時差通勤 例②														勤務時間 (11:00~19:45)

4 庁内マルチワーク制度

勤務時間の20%を上限に他の部署の業務に従事できる制度。得意分野やスキルを活かすことができるほか、自らのキャリアの幅を広げることができます。



5 営利企業等への 従事(兼業)の拡大



農作業、観光ガイド、語学講師等の地域貢献活動などの兼業が可能です。
(一定の要件を満たした上で、許可を得る必要があります。)



DXへの取組

令和7年4月、都道府県で初めて『Google Workspace』を全庁導入し、全職員が生成AI『Gemini』や『NotebookLM』を自在に活用できる環境を整備しました。さらに、最先端のデジタルツールに加え、座席を固定しないフリーアドレス制の導入や『新しい働き方のルール』を策定することで、生産的でクリエイティブな職場づくりを推進しています。



「新しい働き方の実現のためのルール」の例

- カレンダーツールの活用による日程調整の効率化
- 打合せ・会議でのPC利用によるペーパーレス化
- 文書・資料の共同編集によるとりまとめ作業の効率化



充実した研修制度

1 新規採用職員研修

採用後は、自治研修所にて新規採用職員研修を受講します。職員としての基本的な知識や県の現状を学ぶほか、同期とのつながりをつくる機会にもなります。



研修科目例

「秋田県の重要課題」、「接客・ビジネスマナー」、「法令の基礎知識」、「地方議会制度」、「自治体トップ講話」など

2 能力開発研修

幅広い分野の研修を多数用意しています。目指すキャリアや伸ばしたい能力に合わせて知識・スキルを習得することで、自身の成長につなげられます。



研修科目例

「段取り力向上」、「発想カトレーニング」、「データの見方・活かし方」、「エビデンスに基づく政策立案」、「業務に役立つ法令の読み方」など

3 派遣研修

民間企業や中央省庁、研修機関などへの1~2年の派遣研修を積極的に実施しています。外部の視点を養うことで、県の施策に反映できる力を高められます。

近年の派遣研修先の例

【民間企業】

- ソフトバンク(株) ● 三菱商事(株) ● 日本航空(株) ● トヨタ自動車(株)

【国の機関(中央省庁)等】

- 総務省 ● 文部科学省 ● 環境省 ● 資源エネルギー庁 ● 秋田労働局

【大学院・研修機関等】

- 政策研究大学院大学 ● 自治大学校 ● 東北自治研修所

※このほか海外への派遣募集がある年度もあります。(実績:シンガポールなど)

4 ブラザー・シスター制度



新規採用職員一人ひとりに、先輩職員である「ブラザー」または「シスター」がつき、日々の仕事の進め方や職場の基本的なルールなど、幅広く相談に応じサポートします!

キャリアパス紹介



大好きな秋田県のために働く。

秋田がHappyな場所であるように。

Career Path

1991年～ 主事

農政部 果樹試験場
生活環境部 総合生活文化会館
総務部 人事課
出納局 会計課

2004年～ 主任

生活環境文化部 県民文化政策課
健康福祉部 子育て支援課

2008年～ 主査

秋田地域振興局 総務企画部
企画振興部 少子化対策局

2014年～ 副主幹

健康福祉部 健康推進課がん対策室
健康福祉部 健康づくり推進課
観光文化スポーツ部 スポーツ振興課
総務部 総務課 副主幹(兼)班長

2022年～ 主幹

観光文化スポーツ部
食のあきた推進課 主幹(兼)班長

2023年～ 政策監

産業労働部 雇用労働政策課
あきた未来創造部 あきた未来戦略課

2025年～ 課長

観光文化スポーツ部 文化振興課

(※所属は当時の名称)

秋田が好きで県職員になりました。現在は文化芸術の力で秋田を魅力ある地域にするための事業を行う部署で課長を務めています。県民の文化芸術活動の活発化や文化の魅力発信のほか、読書活動の推進に取り組んでいます。

応募を検討している方へのメッセージ

私は行政職として入庁し、ジョブローテーションで様々な部署を経験しました。異動により仕事も変わりますが、組織で対応するので安心して取り組むことができます。幅広い仕事を経験でき、様々な方々との出会いもあり、大変さの中にも学びと面白さがあります。

秋田県庁は皆さんが想像しているより、堅苦しくなく、オープンな雰囲気です。若手職員へのサポート制度もあり、安心して活躍できる体制が整っていて、自身の成長とプライベートの充実が叶うと思います。自分や大切な人が住む、秋田の未来を一緒につくっていきましょう。皆さんを心から歓迎します。

キャリア選択型 人事制度

目指す姿を
自分で選択して
キャリアアップ!
Career Up!



自らの将来像の実現に向けて、高いモチベーションをもって業務に取り組むことができる制度です。

行政職・一般事務職で採用となった職員は、ジョブローテーション期間の終了後、職務分野(キャリア)を選択し、その職務分野を中心に経験を積むことで、専門人材としての成長を目指すことができます。特定のキャリア選択をせず、幅広い業務を経験できるゼネラリストを目指すことも可能です。

キャリア選択可能な職務分野



組織・管理



事業・企画



法務・許認可



総務・経理



福祉・医療



産業・観光・交流



税務



用地・財産管理



データ活用・
情報システム

※ジョブローテーション…県が担う様々な仕事に対する理解を深め、将来のキャリアの土台を築くことを目的に、採用後の一定期間において複数の業務分野を経験すること。



1 人事異動・昇任

おおむね2~4年のサイクルで人事異動があります。毎年、所属長が面談で、希望する仕事や勤務地のほか、家庭状況などの配慮してほしいことを確認します。

本庁・地域振興局・県外事務所への異動のほか、民間企業や国への派遣も実施しています。

昇任は、各人の能力や勤務実績を総合的に評価して行われ、基本的なパターンは次のとおりです。



2 勤務時間

●勤務時間 原則、午前8時30分～午後5時15分(月～金曜日)

●完全週休2日制 土曜日・日曜日・祝日は休み

※いずれも一部施設等へ勤務する職員を除く

3 休暇

次の休暇等を取得することができます。

●**年次休暇** 年間20日まで(採用された年は15日)

▶1時間単位で取得可能

▶20日を超えない範囲で、翌年への繰り越しが可能 ※最大年間40日

年次休暇取得日数	秋田県職員の平均 令和6年	民間の平均 令和6年
	14.0日	12.1日

(R7人事委員会調査、R7就労条件総合調査)

●**特別休暇** 夏季休暇5日、家族看護等休暇最大12日など、全23種類

4 給与

初任給は下表のとおりですが、採用前の学歴や勤務経験年数に応じた加算があります。さらに、扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外勤務手当などの諸手当のほか、6月・12月には民間のボーナスに当たる期末・勤勉手当が支給されます。

新卒者初任給

試験の種類		初任給の標準
大学卒業程度	事務・技術	239,488円
	保健師	274,363円
短大卒業程度	事務・技術	224,369円
高校卒業程度	事務・技術	208,343円
採用選考	獣医師・薬剤師	262,268円

職務経験者初任給(行政職)モデル給与

職務経験の実績の詳細を考慮し、支給額が決定されます。

区分	職位	初任給の目安
大学卒・27歳・職務経験5年	主事	260,151円
大学卒・30歳・職務経験8年	主事	273,154円
大学卒・35歳・職務経験13年	主任	305,308円
大学卒・40歳・職務経験18年	主査	328,994円

5 福利厚生

職員が、心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、様々な厚生制度があります。また、病気・負傷・休業・災害・退職・死亡などに関して、職員やその家族のために給付を行う共済制度があります。

- 健康管理** ▶ 定期健康診断(年1回)、人間ドック・脳ドック等検診(一定年齢以上希望者)、その他保健指導や健康相談等
- 貸付制度** ▶ 自動車等の購入や住宅の新築・修繕、子どもの進学、災害等で臨時に資金が必要となった場合の資金の貸付
- その他** ▶ 結婚祝金や出産祝金、子の就学・卒業祝金などの給付、県内約200か所の指定保養所や全国各地の宿泊施設、各種レジャー施設等の利用割引等

さらに詳しい情報は Web サイトをチェック!



家庭と仕事の両立支援



育児休業取得者の声



ぐんぐん成長する我が子の姿を見たい。
2人目で半年間の育児休業を取得

1人目のときは育児休業を1か月取得しました。2人目のときは、毎日どんどん成長する姿を近くで見守りたいと思い、2度に分けて合計半年ほど取得しました。

現在は時差出勤やテレワークを活用し家庭を優先した働き方をしていますが、「今は仕事の比重を高めた」という時期も含め、その時々での選択が尊重される環境です。ライフステージに合わせて柔軟に働き方を変えられるのが、県庁の魅力だと感じています。



じっくりと子育てに向き合えた1年半。
周囲の理解で復帰後も働き続けやすい。

子どもが1歳半になるまで育児休業を取得しました。一番子どもに手のかかる時期にゆったりした気持ちで子育てに向き合うことができ良かったと思います。

また、職場復帰の時期を上司に相談できたほか、復帰後も周囲の理解があり、定時通勤や、子どもの発熱時などは休暇取得を勧めてもらえます。お互い様だからという認識があってとても働きやすい環境です。

秋田県では、男性も女性も安心して育児に取り組むことができるよう、充実した支援制度を設けています。



妊娠中

- つわり休暇
- 妊娠婦保健指導・健康診査休暇
- 妊婦通勤緩和休暇
- 妊婦休息・補食休暇

出産

- 出産祝金等 56万円程度(見込み)
- 出産休暇 出産の前後8週間
- 配偶者出産休暇 (男取得可能)
- 配偶者の出産に係る子の養育休暇 (男取得可能)



育児中

- 家族看護等休暇 (男女取得可能) 年6日(2人以上は12日)まで
- 保育休暇 (男女取得可能) 1日2時間以内取得可能(1歳半まで)
- 育児休業 (男女取得可能) 子どもが3歳になるまで取得可能

- 育児短時間勤務・部分休業 (男女取得可能) 子どもが小学校入学前まで取得可能
- 深夜勤務制限 ●時間外勤務制限 など

育児休業手当金の支給もあります!
(原則、子が1歳になる日までに限る)

令和6年度 秋田県職員育児休業取得率 女性100% 男性82.8%

秋田県の行政機構図

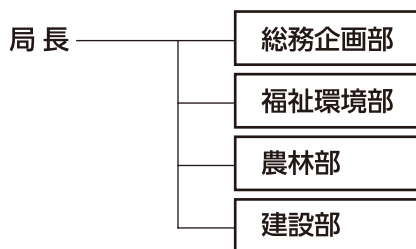
令和8年2月末時点



主要行政機関と試験研究機関

令和8年2月末時点

地域振興局の組織体制



試験研究機関

- 総合食品研究センター..... ①
- 健康環境センター..... ②
- 農業試験場..... ③
- 果樹試験場..... ④
- 畜産試験場..... ⑤
- 水産振興センター..... ⑥
- 林業研究研修センター..... ⑦
- 産業技術センター..... ⑧





秋田県庁の仕事

「新時代に咲き誇る秋田」を目指して、幅広い分野の事業に取り組んでいます。

注目!

マーケティング戦略の推進

県の施策(「誰に、何を、どのように」届けるか)の精度を高めるため、庁内におけるマーケティング手法の活用を推進します。

※令和7年7月に新たにマーケティング戦略室が設置されました。

企画振興部
総合政策課マーケティング戦略室



未来づくり

若者の県内定着・
回帰を促進

県内企業で働く魅力の発信や就職イベントの開催を通じて、高校生・大学生等の県内就職を促進します。

あきた未来創造部
移住・定住促進課



観光・交流

秋田の特色を
生かした
誘客の促進

秋田県内の体験型コンテンツを売り出すことで観光客の増加につなげます。

観光文化スポーツ部
誘客推進課



健康・医療・福祉

こどもの未来を応援する
ネットワークづくりの支援

こども食堂や食料支援、制服リユースなどに取り組む民間支援団体のネットワークづくりを推進しています。

健康福祉部
地域・家庭福祉課



農林水産

県産食材の
販路を拡大

オール秋田でブランド力のある県産食材の輸出拡大を推進します。

農林水産部
農業経済課販売戦略室



林業を支える
人材の育成

森林・林業関係団体等と協働で、幅広い知識や技術を習得する研修を実施します。

農林水産部
森林資源造成課



防災・減災・県土強靱化

自然災害に備えた
防災訓練

激甚化・頻発化する自然災害に備え、関係機関が相互に連携・協力して防災訓練を実施します。

総務部
総合防災課



水害対策のための
河川改修

県民の生命と財産を守るため、太平川(秋田市)を集中的に改修しています。

建設部
河川砂防課



産業

新エネルギー
関連産業の振興

風力、地熱など本県の多様で豊富な再生可能エネルギー源を生かしながら、関連産業の振興を図ります。

産業労働部
クリーンエネルギー産業振興課



提供：秋田洋上風力発電(株)

環境・暮らし

犬猫の適正飼養や
譲渡の推進

犬猫の譲渡を通じ、正しい飼育を普及啓発する取組を推進します。

生活環境部
生活衛生課



職種紹介

interview

掲載されている職種は一部です。他にも様々な職種がありますので、詳しくは「職員インタビュー」をご覧ください！



行政・一般事務

中学生の頃の職場体験で県庁を訪れました。職員の方の「全ては県民のために」というお話に感銘を受けたことが公務員を目指したきっかけです。公務員の本質は、公益という旗印のもと、住民の皆さんが安心して暮らせる「当たり前の日常」を守り抜くこと。これはこの仕事にしかできない使命だと感じています。

今は地域振興局で出納の仕事を担当しています。県民の皆様からお預かりした大切な税金が、適正な目的



に、正確に使われているかを厳しく確認する、責任の重い仕事です。

一方で、マルチワーク制度を活用し、企画系の部署の業務も経験しています。マルチワーク制度やジョブローテーションを通じて県庁の多岐にわたる業務を知ることができると感じています。県民の皆さんの暮らしを守るために、色々な経験を積んでいきたいですね。

利益追求ではなく、公益のために働く。
主体である県民の暮らしを守るために、
自分自身も成長していきたい。

秋田県の「教育行政」の仕事に興味を持って応募。
学校事務として、子どもたちの学びを支えたい！

教育行政・教育事務

大学で教育学部に進学し、学校教育を取り巻く課題に関心を持っていました。卒業後は民間の教育関係の企業に就職しましたが、結婚を機に秋田へ移住。秋田県庁には一般行政とは別の区分で教育行政の募集が

あります。学校事務職員として働いて、子どもたちの学びをサポートしたいと思い、応募しました。

入庁前はマニュアルに沿って淡々と仕事をするイメージでしたが、実際は自分で判断して仕事を進める場面が多く、考え方や意見を反映できると実感しています。もちろん、分からないことは経験も知識も豊富な先輩たちが教えてくれます。今、学校に赴任して2年目ですが少しずつ新しい業務を任せてもらえるようになりました。いつか自分も先輩たちのような存在になりたいですね。





そのままの人生を歩んでいたら
得られなかった経験や知識。
新たな発見にうれしくなります。

行政 (職務経験)

前職のとき、コロナ禍で秋田県庁への出向を経験しました。県庁での勤務で感じたのは、言葉に思いやりがあり、相手を尊重してくれること。相談し合える環境で、仕事を抱え込むことはありません。以前の職場はサービス業で、その日その日に対応する職場でした。仕事は好きでやりがいも感じていましたが、自分のライフステージを考え、地元に戻り、県庁で働きたいという思いが芽生えて、応募しました。

今は海外進出を目指す企業に向けた補助金の案内、協議会の運営や

セミナーの企画・運営などを行っています。自分の発言が県の立場を示すことになるため、責任感が増しました。今の仕事は、長期的な目線で1年を通じて仕事を積み重ねて達成感が得られる環境だと感じています。



建築 (職務経験)

都内の大学を卒業後、全国展開している住宅メーカーに入社し、戸建住宅の現場監督や、設計の仕事を経験しました。その後首都圏の自治体で建築職の技術職員として勤務していました。私も主人もお互い秋田出身のため、将来は地元に戻り、故郷に貢献したいと話合っていました。県の担当部署に移住相談をしたことをきっかけに、秋田県職員の職務経験者募集のことを知

り、応募しました。

秋田県庁では幅広い業務に対応することが求められます。現在の部署では、問い合わせ等への対応を通じて、日々新たな知識が増えることに楽しさを感じています。また、チームリーダーが課題に対して「考えてみて」と仕事を振ってくれるので、作業ではなく、先を見据えて考える仕事ができ、充実した毎日を過ごせています。

じっくり考え、仕事に取り組める一方、
一人で背負わずに、チームで動く。
アットホームで働きやすい雰囲気です。





心理判定

県外の大学で心理学を専攻し、子どもの発達心理・成長の部分に関わる仕事に就きたいと思い、県庁を志望しました。今は児童相談所で心理判定業務を行っています。職員として業務にあたるようになり、責任感も芽生えました。この仕事はさまざまなお子さん、親御さん、ご家庭と向き合う仕事です。臨機応変にそれぞれに対応していくことが求められます。課内では意見交換をしたり、アドバイスをいただいたり、一人で抱え込まないような雰囲気があります。ありがたいです。



今は児童福祉司の業務にも興味があり、資格取得を目指したいと思うようになりました。県の制度として受験費用の助成も受けられるので、活用させてもらいながら、より現場で役に立つ人材を目指していきたいです。

**心理学という知識を持って発達相談や虐待相談に対応。
難しいけれど県民の皆さんの生活の向上に役立ちたい!**



保健師

大学で看護学を専攻し、病気の予防をサポートできると考えて保健師を目指しました。県全体で仕事できることが魅力と感じ、県庁を選びました。異動によってさまざまな地域のことを知れるのがひとつの魅力です。最初の赴任先は平鹿でしたが、県北出身の自分にとっては新鮮な発見が多かったと思います。

今は精神障害者保健福祉手帳を交付するための業務等を行っています。

不安を抱えている方の相談に応じることが多く、必要とされる仕事だと感じます。保健師の仕事は多岐にわたるため、今は幅広いジャンルの研修を自発的に受けるようにしています。入庁当時の「ブラザー・シスター制度」で担当してくれた先輩が頼りになる方でした。自分もいてくれてよかったと思われる人を目指したいです。

**自分がどの専門家になれるか模索中。
この人がいて良かったと、住民の方にも
同僚にも思ってもらえる人を目指したい!**



土木

東日本大震災をはじめ、昨今頻繁に発生する自然災害を目の当たりにし、災害に強い社会インフラ整備の重要性を感じました。秋田高専で土木を専攻し、自分自身が土木技術者として防災対策に携わることで秋田県の持続可能な社会形成に貢献したいと思い、秋田県庁を志望しました。

現在は地域振興局で道路や河川の改築事業に携わっており、計画、

設計、工事監督など、事業の計画段階から完成まで一貫した業務を行っています。自分の仕事は地域の方々の生活を支える重要なもので、大きな責任を伴います。しかし、諸先輩方からサポートをいただきながら、気軽に周囲に相談できる環境が整っています。日常的に地域の方々とお話する機会があるので、その声や思いをインフラ整備に反映していきたい。秋田の未来を担う技術者として誇りを持ち、安全に暮らせる秋田県の地域社会形成に寄与していきたいです。

地域住民の方々の視点に寄り添い、ともにつくり上げる。
地域の方々と力を合わせて秋田を盛り上げたい!



学んだことが活かせる環境に魅力を感じて入庁。
秋田の産業を支えていることを実感しています。

電気

私は高専・大学で学んだ工学の知識を活かしたいと考え、電気職として入庁しました。これまでは、水力発電所の運営やメンテナンスを行っていましたが、現在は「工業用水道事業」に従事しています。秋田湾地区や御所野地区等の事業所へ工業用水を送る大切な仕事で、私は工業用水道の管理業務を委託している指定管理者からの報告内容を確認、チームへ共有する業務を担当しています。

入庁前は事務仕事が多いのかなと思っていましたが、発電所や浄水場へ赴いて点検を行う等、現場仕事も多いことに驚きました。インフラの保守に関わるようになり先輩方がこれまでも人々の暮らしを守っていたんだと感じています。わからないことも、先輩方が丁寧に教えてくれるのでとても働きやすく、新たなことに挑戦しようという雰囲気でも業務環境の改善にも積極的です。私も見習っていきたくです。



専門知識は入庁後に研修があるので安心。
わからないことは先輩が丁寧に教えてくれます!

農業農村工学

大学で学んだ農業土木の知識を、地域の方と関わりながら活かしたいと考えて、公務員を志望しました。地域振興局では本庁よりも生産者の方々と関わる機会が多く、直接お話を聞くことで、業務のモチベー

ションにつながっています。

農業農村工学分野では農業の生産基盤となる農地や、ため池、用排水路等を含む農業水利施設の整備事業を行っており、今は工事の実施担当として、主に農業用ため池の改修を行っています。具体的には設計書の作成や関係機関との調整、現場の監督業務などを行っており、入庁前に自分が携わりたいと思っていたことに関わっているなど感じています。これからも業務を通じて、地域や生産者の方々の役に立つ仕事をしていきたいです。



農学

大学で農学を学んだので、それを生かして育った秋田の役に立ちたいという思いがあり、県職員を志望しました。今は地域振興局の農林部に所属し、おもに生産者の方への指導を行っています。実際にほ場へ出向き、生育状況の確認、指導を行ったり、地域の課題に応じて新しい技術の実証や調査も行います。入庁前は、事務仕事メインのイメージがありましたが、実際は外にいることがほ

とんどです。ほ場へ出向いて生産者の方とお話することが多く、自分が提供する技術や情報が営農の役に立っていることを実感します。

また、業務の環境としては、恵まれた十分な環境を与えてもらっていると感じています。この役割をいただいたことに感謝し、これから、農業分野の振興にもっと役立つ人材になりたいですね。

社会は色々な役割を果たす人がいて成り立っている。
一生懸命に手足を動かして、自分の役割を果たしたい。



畜産

大学で畜産を学んでいました。一年生のとき、インターンシップで酪農を通じて地域を盛り上げたいと話す酪農家の方に出会いました。このような夢を持った方々を支援できる仕事がしたいと思い、県職員を志望しました。

入庁してから、本庁、地域振興局の2か所を経験しました。農家の方のサポートをするためには、大学で学んだ畜産の知識だけでなく、経営や販売の知識など様々な分野の勉強が必要だと感じています。また、飼

料作物についての相談を受けることが多いので、その分野の専門家になれるよう勉強していきたいです。

自身の発言は県の発言と受け止められることもあるため責任のある仕事だと感じる毎日ですが、一緒に働いたチームリーダーは皆さんから信頼され、頼りにされていました。その方を目標に、これからも経験を積んでいきたいです。

本庁は県全体の情勢が見え、目指すべきものを学べた。

地域振興局は現場に近く、ライブ感に溢れている。



再造林、カーボンニュートラル…。

林学の分野で秋田の未来を支えるため

もっと勉強して役に立つ人材になりたい。

林学

両親が森林に関わる仕事をしてきたこともあり、昔から自然が好きでした。中学生の頃、将来的に林業分野で働きたいと考え、林業が学べる高校へ進学しました。入庁前は、黙々と与えられた仕事をするイメージだったのですが、実際にはアットホームで自分の意見も出しやすい環境で、自由に仕事ができます。

林業は、長期的な計画を立てて森林を育てることが必要だからこそ、

結果が見えにくい分野。今の仕事が未来の豊かな森林につながっていくと考え、取り組んでいます。

専門的な職種ですが、さまざまな研修を受けることができるので安心です。また、一緒に働く方々や他の機関、事業者の方など、その分野のプロと交流することで自分の知識も増やしていけます。もっと勉強して、周りの素敵先輩方に追いつきたいです。



秋田県職員採用試験の実施予定

以下の日程はあくまで予定です。
必ずそれぞれの受験案内を確認してください。

>> 受験から採用までの主な流れ

試験の種類	受験案内公表	受付期間	第1次試験日	第1次試験合格発表	第2次試験日	第2次試験合格発表	第3次試験日	最終合格発表
大学卒業程度 (早期枠)	公表済	3/2(月) ↳ 23(月)	【SPI3】 4/1(水)~14(火)	4/21(火)	5/14(木)~19(火)			6/2(火)
大学卒業程度 (職務経験者枠)		3/2(月) ↳ 4/8(水)	【アピールシート試験】 4/23(木)~5/1(金)	6/1(月)	【SPI3】 6/1(月)~14(日)	6/19(金)	7月中旬	7/31(金)
大学卒業程度 (通常枠) 短大卒業程度	4/21(火)	4/21(火) ↳ 5/20(水)	6/21(日)*	6/26(金)	7月中・下旬			
高校卒業程度	7/24(金)	7/24(金) ↳ 8/19(水)	9/27(日)	10/2(金)	10月中旬			10/30(金)

意向確認

採用内定

*6/21(日)の第1次試験は、東京会場での受験も可能です。

>> 試験の内容

試験の種類	第1次試験					第2次試験				第3次試験					
	教養試験	基礎能力試験(SPI3) ※1		論文試験 ※2	作文試験 ※2	専門試験	アピールシート 試験	論文試験	専門試験	基礎能力試験(SPI3) ※1		個別面接	論文試験	専門試験	個別面接
		基礎能力 検査	性格検査							基礎能力 検査	性格検査				
大学卒業程度 (早期枠)		●	●					●	※3			●			
大学卒業程度 (職務経験者枠)						● オンライン 提出				●	●		●	※3	●
大学卒業程度 (通常枠)	●			●						●	●	●			
短大卒業程度	●				●	●				●	●	●			
高校卒業程度	●					●				●	●	●			

※1:基礎能力試験(SPI3)では基礎能力検査と性格検査を行います。 ※2:論文試験・作文試験の評価は、第2次試験で行います。 ※3:試験区分(受験する職種)によっては専門試験がない場合があります。詳細は受験案内で確認ください。

障害者採用について

障害者の方を対象とした採用試験の詳細は、確定次ウェブサイトに掲載します。
2025年6月1日現在、障害を持つ職員は、本庁各課や地方機関、県立学校など67課所に93人在籍しています。

「採用選考」を行っています

職務上、専門的・技術的な面からの職務遂行能力の評価が必要な職種については、
別途、採用選考を実施しています。
受験資格・選考の実施時期・採用予定人員などは、職種ごとに異なります。

採用予定職種など、
募集状況はこちらからチェック! >>



秋田県職員採用試験 Q&A

Q1 / 「大学卒業程度試験」は、大学を卒業(見込み)していないと受験できませんか?

受験資格を満たしていれば、学歴、職歴等にかかわらず、受験できます。

Q2 / 「大学卒業程度試験(早期枠)」はどのような試験ですか?

試験時期や最終合格発表が早いことが特徴の大学卒業程度試験です。
また、第1次試験では、特別な公務員対策が不要な「SPI3」を実施するため、誰でも受験しやすくなっています。
なお、「SPI3」とは民間企業等の採用試験で広く使用されている総合検査で、秋田県職員採用試験では全国各地の会場またはオンライン会場で受験できる「テストセンター方式」を採用しており、秋田県外在住の方でも受験可能です。

Q3 / 「大学卒業程度試験」には「早期枠」、「職務経験者枠」、「通常枠」がありますが、併願はできますか?

受験資格を満たしていれば、全てに併願できます。

Q4 / 大学卒業(見込)者は、「短大卒業程度試験」、「高校卒業程度試験」を受験することができますか?

「短大卒業程度試験」は、大学を卒業または卒業見込の方は受験できません。
「高校卒業程度試験」は、大学、短大、高等専門学校を卒業または卒業見込の方は受験できません。
大学在学中、または中退された方は、受験資格を確認する必要がありますので、秋田県人事委員会事務局までお問い合わせください。(問い合わせ先は下記へ)

Q5 / 受験案内はどこで入手できますか?

受験案内は、受付開始日までに秋田県職員採用ウェブサイトでご公表するほか、秋田県庁舎総合案内や各地域振興局、県外事務所などで入手することができます。

Q6 / アピールシート試験とは何ですか?

これまでに得た知識や経験などを、秋田県のためにどのように生かせるかという趣旨で、ご自分のアピールポイント等を記入していただく、事前提出型の試験です。

Q7 / 最終合格すれば、必ず採用されますか?

秋田県では、原則として最終合格者全員を採用しています。採用を辞退しない限り、最終合格者は原則として全員採用されますのでご安心ください。

さらに詳しいQ&Aはこちら →



秋田県人事委員会事務局

〒010-0951 秋田市山王4-1-2 (秋田地方総合庁舎4階)
TEL 018-860-3253 FAX 018-860-3872
E-mail appco@mail2.pref.akita.lg.jp
Web https://www.pref.akita.lg.jp/pages/recruitment

さらに詳しい情報はWEBで公開中!

秋田県の取組や仕事内容、採用試験、説明会など、最新情報を掲載しています。



*警察行政職員及び警察官の採用に関する情報は、秋田県警察本部のウェブサイトをご覧ください。

SNSでも
情報発信中!



Instagram



X